

# 冬山の安全と順調な降雪を祈って

## 氷ノ山・鉢伏・東鉢伏で冬山開き

氷ノ山・鉢伏・東鉢伏一帯の冬山開きが12月2日、別宮のハイパーボウル東鉢スキー場内で行われました。

式典には、観光協会役員や地元区長ら関係者約50人が出席。冬山の安全祈願と、順調な降雪によって多くの入山者が訪れるように祈願しました。その後、梅谷警市長や氷ノ山鉢伏観光協会の田中昇寿会長らが、記念のくす玉割りとテープカットを行い、冬山シーズンのスタートが切られました。

今年のハチ高原での初冠雪は、昨年より21日遅い11月16日に観測しました。今後の順調な降雪で、冬山の活性化が期待されます。



▶安全と繁栄を祈願してテープカットをする関係者



雪で作ったすべり台で遊ぶ園児ら

## 雪のプレゼントに大はしゃぎ

### 交流事業・明石市へ雪をプレゼント

昨年5月、交流協定を締結した明石市と養父市の交流事業として12月5日、ハチ高原スキー場から明石市の江井ヶ島保育所に人工雪が届けられました。

同日早朝、氷ノ山鉢伏観光協会職員や市職員らが、人工雪をトラック3台に積み込み出発。計画では30トの雪を予定していましたが、降雪の影響で人工雪ブレンドに入ることができなかつたため約7トの人工雪を届けることになりました。

同保育所に到着後、職員らが長さ約10メートルのすべり台を作り、園児らはソリで順番に滑り降りたり、雪玉を投げ合ったりと、ふだん見る機会の少ない雪の感触を楽しんでいました。

## 保護司の守本達雄さんが法務大臣表彰を受賞

10月31日に神戸市で開催された兵庫県更正保護大会において、保護司の守本達雄さん(八鹿町八鹿)が、法務大臣表彰を受賞されました。

保護司は、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支えるボランティアです。主な職務は、保護観察を受けている少年や大人の指導、犯罪予防活動等で、近年では、学校と連携した分野にも活動の範囲を広げて活動をされています。

守本さんは、昭和58年10月に法務大臣より保護司に委嘱されて以来、22年間にわたって保護司として活動をされています。



表彰を受けた守本達雄さん